中央大学国際経営学部　企業訪問報告書

調査テーマ	大和ハウス工業株式会社の理念と業務をワークショップを通じて学ぶ
調査日	2021 年 10 月 28 日（木）12:30～16:00
調査先	大和ハウス工業株式会社
担当教員身分・氏名	教授　国松 麻季
授業科目/学部企画名	企業訪問
参加学生数（学年）	1，2年生20名
調査趣旨・目的	同社の事業概要を理解し、本学出身の先輩方より具体的なキャリアを伺い、学生が今後の修学に ついて考察を深める機会とする。
調査結果	企業訪問は、アイスブレイク、企業の紹介、ワークショップ、ワークショップの講評の順で行われた。 　企業の紹介では、大和ハウスの成り立ちから、現在取り組んでいるプロジェクトまでご説明いただいた。同社の企業理念は「儲かるからではなく、世の中の役に立つからやる」であり、創立当時から現在に至るまで、企業DNAは脈々と受け継がれているのものだと感じられた。近年では大型物流システムの国内の先駆けとなったり、SDGs の流れを汲んだ「Liveness Town Project」という郊外再耕プロジェクトを展開したりと前進的し続ける企業であることが分かった。 　ワークショップ「ツギマチ LAB」では 60 分の中で、依頼主の条件を満たす建物を架空の街の一区画に企画し、3 分間でプレゼンテーションを行うという、本来 3 年生がインターンシップで取り組む内容を体験させていただいた。同社が受注した実例をもとにしたワークショップであったことが後に告げられたが。参加した学生にとって、「仕事」とは何をするのかという漠然とした疑問を明確にすることができた貴重な経験となった。

アイスブレイク

プロジェクトを体験

学生代表からお礼

集合写真で締めくくり